

市民映画劇場9月例会
「ナミイと唄えば」

ひとたびナミイが唄い出せば、誰もがその世界に引き込まれる。三線片手に唄って遊んで人を喜ばせながら「ヒャクハタチ」めざして生きる、85歳の八重山おばあのお歌と旅の物語。島唄、童謡、軍歌、歌謡曲と歌づくしの構成で、映画全体がナミイおばあのお座敷の世界に。

22日(土)15時から本橋成一監督のトークショーを開催(入場料金のみで参加可)。

9/21(金)11:00/13:30/16:00/19:00

9/22(土)11:00/13:30/16:30/18:30

一般前売1,300円

(当日一般1,500円/大学生以下・身障者・シニア1,100円)
会場 神戸市産業振興センター3Fハーバーホール
(JR「神戸」地下鉄海岸線「ハーバーランド」下車徒歩約7分)

■神戸映画サークル協議会

☎078-371-8550

<http://www.kobe-eisa.com/>



2007朝日・神鉄文化セミナー

「神戸港を支えた人々」

第4回 勝海舟と坂本龍馬(歴史講座)

今年、神戸港が開港して140年を迎えたのを記念し、神戸港を支えた人物を語る文化セミナー。第4回目は「勝海舟と坂本龍馬」をテーマにした歴史講座。江戸幕府の軍艦奉行であった勝海舟は、海防のための教育施設として「海軍操練所」を、また、坂本龍馬は諸藩の志士のための「海軍塾」を、兵庫津の東に開設した。講師は茨木一成先生。

10/14(日)10:00~11:30

谷上SHビル7階(神戸電鉄・北神急行「谷上」駅下車)

入場無料 参加自由

■神鉄観光事業部 ☎078-521-0321



坂本龍馬



勝海舟

神戸市立小磯記念美術館 開館15周年記念特別展

「藤島武二と小磯良平展

一洋画アカデミズムを担った師弟ー」

藤島武二是日本洋画界の黎明期に活躍した画家で、東京美術学校(現東京藝術大学)で後進たちの指導にも努め、次代を担う画家たちが彼のもとから羽ばたいた。小磯良平もその一人で、藤島とともに洋画アカデミズムの屋台骨を支えた。

師弟の絆で結ばれた二人の巨匠が近代画壇に残した大きな足跡を13点の絵画でたどる、開館15周年記念にふさわしい展覧会。



藤島武二「官女と宝船」
1920年頃 油彩

9/15(土)~11/18(日)

神戸市立小磯記念美術館(六甲ライナー「アイランド北口」下車すぐ)

10:00~17:00 月曜休館(祝日の場合翌日)※金は~18:00

※入館は閉館30分前まで

当日:一般800円 高大生600円 小中生400円

■神戸市立小磯記念美術館

☎078-857-5880

http://www.city.kobe.jp/cityoffice/57/koiso_museum/

神戸山手学園 平成19年度講演会

「映画のまちは、おしゃれなまち

～映像がおしえてくれる神戸の魅力～」



岡部まり



田中まこ

映画発祥の地・神戸がテレビドラマや映画の舞台、ロケ地として使われるのは今や珍しくなくなってきた。その数、毎年100本以上。なぜこれほど多くのロケが神戸で行われるのか。神戸を映像ロケ地にと誘致、撮影支援を行なう

神戸フィルムオフィス代表、田中まこ氏と、タレントで映画評論家の岡部まり氏が講演を行なう。

9/30(日)13:00~15:00

神戸山手大学・神戸山手短期大学体育館

先着800名を無料招待

※往復はがき、またはホームページから事前申し込み・9/14(金)必着

■神戸山手大学・神戸山手短期大学 生涯学習センター

☎078-351-7170

<http://www.kobe-yamate.ac.jp>

ジャズライブ&レストラン SONE

スウィング系ジャズを中心としたステージが毎晩繰り広げられる、ジャズのまち神戸の老舗点。9月の注目のライブは…

- 9／3月 ユン・ファソン クワルテット／
ユン・ファソン(Vo,Tp) 堀智彦(P)
井手厚(木) 木村優一郎(D)
16日 ジャネット+祖田修トリオ／
ジャネット(Vo) 祖田修(P)
鶴見和広(B) 佐藤英宜(D)
18火 キャンディー浅田(Vo)
西本貴至(P) 中島教秀(B)
石川潤二(D)
29土 辛島すみ子(Vo) 祖田修(P)
井手厚(B) 塩入基弘(D)
30日 北莊桂子+高岡正人トリオ／
北莊桂子(Vo) 高岡正人(P)
魚谷のぶまさ(B) 御葉袋一男(D)

記載された以外にも、毎晩ライブあり。
ホームページでスケジュールをチェックしてください。

■JAZZ LIVE & RESTAURANT SONE

北野坂 ☎078-221-2055

<http://kobe-sone.com>

★ステージ18:50～23:00 計4回

★ミュージックチャージ900円

クラシックライブハウス ピアジュリアン

神戸で唯一、クラシックライブ専門のお店。

9月の注目のライブは…

- 9／7金 尾崎比佐子(ソプラノ)
鎌田史子(ピアノ)
18火 金子鈴太郎(チェロ)
井上麻紀(P)
22土・23日 ヘーデンボルグ直樹・
遠藤真理チエロデュオ
26水 第69回藤溪シリーズ
藤原道代(ソプラノ)
27木 佐久間総一・
長原幸太(ヴァイオリン)
藤井快哉・鈴木華重子(ピアノ)

記載された以外にも、毎晩ライブあり。
ホームページでスケジュールをチェックしてください。

- クラシックライブハウス PIA Julien
三宮駅北側近藤ビル9階(1階マクドナルド)
☎078-391-8081 月曜定休
<http://pia-julien.com>
★ステージ19:30／21:00(計2回)

ジャズ喫茶 カフェ萬屋宗兵衛

元町商店街にあるジャズ喫茶

9月の注目のライブは…

- 9／6木 Japan tour '07 From New York
JAZZ Live!
william ash(g) Jared Gold(org)
小林陽一(ds) 要予約
9日 Soul Area BIGBAND／
斎藤岳志・栗原麻衣(as)
住本絵吏・光山浩平(ts)
菅野久美子(bs) ほか
22土 「アユムソウサカナコンビ」
木原鮎子(vo) 川本睦子(vo)
大野綾子(pf) 坂崎拓也(b)
吉川元(ds)
23日 ☆La Morocha☆ Milonga de Kobe
アルゼンチンタンゴダンスパーティー
音・人・旅【おとなたび】
荻野やすし(g) 栗田洋輔(sax)
山田友和(tp) 竹中裕深(cello)
新井洋平(b) 桶下善弘(ds)

■Cafe 萬屋宗兵衛

元町商店街1丁目
ウエディングサロン「イノウエ」地下
☎078-332-1963 <http://www.soubei.net/>

ライブスケジュールは急速変更になる場合があります。
事前にお店までお問い合わせください。

ライブハウス メイデンヴォエッジ

阪急六甲のライブハウス。ジャズセッションティー、アカペラオンラインなどもあり。

9月の注目のライブは…

- 9／7金 Jazz Funk セッションワークショップ
講師:笹井BJ克彦(b)
吉川弾(Dr)
奥本めぐみ(Vo,pf,Tb)
18木 ディブ・ウェックル(Dr)クリニックat
マイクスターシングループクリニック
駅前寄席!明伝座 Vol.6
笑福亭智之介 ほか
28金 Good Acoustic
シモムラソウシ 村上絢佳
CROSSPLAYほか
10／16木 精進ツアー-2007
柳原大(pf) 小森啓資(dr)
楠本雅祥(bass)
ぜひチケット予約を!

記載された以外のライブはホームページ等で
チェックしてください。

■Livehouse Maiden voyage

阪急六甲駅北側すぐ

☎078-805-0899

<http://www.koyo.net/maiden-voyage/>

★演奏のジャンル問わず、出演者募集中

<お詫びと訂正>

2007年7月号59ページ

「新長田の新名所 神戸映画資料館 カフェ

ダイニングジーナ」記事の3行目

「時は1826年」は誤りで、正しくは「時は
1896年」でした。

2007年8月号70ページ

イベントスケジュール「2007 イタリア・ボローニャ国際絵本原画展」記事の開館時間

「10:00～18:00 月曜休館」は誤りで、正しくは「10:00～17:00 水曜休館」でした。

※関係者各位にご迷惑をおかけいたしました。
訂正して心よりお詫び申し上げます。

佐藤紘「南洋の楽園・バヌアツ」



写真:佐藤紘一

「バヌアツ」という国を「存知だろうか? バンジージャンプ発祥の地、ニューカレドニアの近く。英國のシンクタンクによって生活満足度などから算出された『地球幸福度指数(ハッピーラネット指数)』で178位の中1位に選ばれた、美しい自然と、純粹な人々が住むという国だ。」

佐藤紘一さんは、JICAのニア海外ボランティアとしてバヌアツに出かけ、この国の魅力にとりつかれてしまった。佐藤さんが3週間の滞在で撮影した、バヌアツの自然と人々の雄大かつ美しい写真展。

とき 9月6日(木)～25日(火)

場所 ジャスコつくしヶ丘店前
（北区）

■あーとすべーす 写楽

（078-583-5786）

伝説の名車たちが集結
B.P.大阪ノスタルジック
カーショー2007

今年も「B.P.ノスタルジックカーショー」の開催が決定! このイベントは、国内最大級のノスタルジックカー＆パーツ、アクセサリー、グッズなどの展示＆即売会。トヨタ2000GT、フェアレディZ（S30）、ピンテージフェラーリなど国産、輸入のノスタルジックカーが大集合。出展される車両は、実際にナンバーを取得して走行することが可能な、伝説の名車たちで、当日会場で商談も行なわれる。

今回のスパシャルイベントは、エプロミニチュアカーの展示会場限定モデルの予約販売も予定されている。「EBRROスパシャルブース」、1978年DOME Zero他がやつて来る「童夢展」。自動車ファンはお見逃しなく!

とき 10時～18時（水曜休）
（078-583-5786）
場所 インテックス大阪3号館
（大阪市住之江区南港北／ユートラム「中ふ頭」駅）

料金 前売1700円
(サークルKサンクスで取扱中)

9月の催し
デュオギヤラリーア

9月6日(木)～11日(火)

9月10日(木)～17日(火)

9月13日(木)～18日(火)

第7回介護老人保健施設の活動展

主催：神戸介護老人保健施設協会

実行委員会 東京都港区新橋5-25-1

（0120-750-043）

より、インポートブランドネクタイを専門に取り扱うサイト「ユーロセレクト」。このサイトでは流行の新作をいち早くお届け。あらゆるシーンでもつとも似合う、自分スタイルのネクタイが見つかるはず。また、おなじみのキャラクターネクタイも数多く取り揃え、話題を呼んでいる。

クールに、シックに、エレガントに、そして可愛く装つてみてはいかが?...。ヨーロセレクトの商品は、主にヨーロッパの高級ブランドネクタイを販売する専門店です。ヨーロッパの文化や歴史、アート、音楽など、ヨーロッパ文化を体験できるイベントや展示会を開催しています。ヨーロッパ文化を楽しむための情報や、ヨーロッパ文化を学ぶための講座も開催されています。ヨーロッパ文化を楽しむための情報や、ヨーロッパ文化を学ぶための講座も開催されています。



70年代を中心にしたノスタルジックカーが大集合

個性的なインポートネクタイがそろうサイト

花や風景の写真展
主催：花の会ひようこ写真展
（主催：花の会ひようこ）
9月13日(木)～18日(火)
会場：第35回関西版画連盟展
主催：関西版画連盟
9月27日(木)～10月2日(火)
花や風景の写真展
主催：花の会ひようこ
9月27日(木)～10月2日(火)
NHK神戸文化センター
ボタカルアート講座
透明水彩絵具で描く植物の細密画を展示

Yanoo-nyc.com
http://store.yahoo.co.jp/euro-select/index.html
■有限公司 JTC
神戸市中央区下山手通3-2-14林ビル3F
（078-333-51881）



今年も元気に海の盆踊り



「こうべ海の盆踊り2007」が、8月18日メリケンパーク広場で開催。日本の夏の盆踊り、神戸の盆踊りは国際色豊か。

トアロード まちづくり協議会

トアロードの商店主や関係者が参加しているトアロードまちづくり協議会の総会が、7月25日中華会館で行われた。



上月倫子バレエスクールリサイタル

7月22日、神戸文化ホールで行なわれた上月バレエスクールのリサイタルは、「青い鳥」「ドンキホーテ」のステージで、団員たちが日々の練習の成果を披露。



サンバフェスタKOBE 2007

7月28日、KOBECCOサンバームが「サンバフェスタKOBE2007」に参加。子供たちのかわいい踊りで観客の注目を浴びた。ハーバーランドスペースシスターにて。



アロハ! ハワイフェア



神戸ペイシェラトンホテル＆タワーズの期間限定フェアでは、ハワイのローカル色豊かな料理とビーフステーキ、トロピカルドリンクなどが勢揃い。8月1日のオープニングにはかわいいフラダンスのショーもあり、ハワイアンムードに。

うまいもん 探偵団の総会

神戸のグルメたちが集う、うまいもん探偵団「食総合研究所」の第14回総会が、7月31日メリケンパークオリエンタルホテルで開催。もちろんおいしいお料理を食べながら、食文化についての勉強も。



ピアしつくすで 講演会シリーズ

神戸港湾資料館「ピアしつくす」で行なわれている定期講座「まちづくり生涯学習講座」第3回は、7月28日に来田仁成さんを講師に「海辺のアクティビティ」と題し、釣りと海についてのお話し。



子羊を 食べる会

全国に会員をもつ
「Associazione di
amatore di AGNELLO
子羊を食べる会」の定
例食事が7月25日
新神戸サンホテルで



三者三様 「くどくどアナログ」

昆虫を撮った酒本和範さん、風景の藤井英雄さん、人物の木村ヨシローサン、写真家3人による写真展「くどくどアナログ」が、8月1日～19日、垂水のスタジオ・チーズで開催。



神戸ファッション専門学校「KFI MOVE」



神戸ファッション専門学校の学
生たちがオリジナル作品を発
表する「KFI MOVE」が7月27、
28日、兵庫県立美術館ギャラ
リーで開催された。ファッショ
ンショーのほか、ディスプレイコン
テスト入賞作品、シューズ作品
なども並び、どれも高い技術と
感性。



神戸市立博物館 「西洋の青」展

合成顔料のブルシアンブルーをめ
ぐり、「青」の表現にテーマをあてた
爽やかな特別展が7月21日から9
月2日まで開催された。



大和松蔵「夏の座敷舞」

8月5日、グリーンビルホテル明石で、
大和松蔵さんと門下生の皆さんに
よる舞台「夏の座敷舞」が行なわれ
た。

AED(自動体外式除細動器)を知っていますか?



浅野孝治先生
浅野医院長

不整脈、心筋梗塞やそのほかの心臓病で、突然、心臓から血液が送られなくなり呼吸も止まり、意識もなくなり死亡する人が、年間5万人から6万人にもなります。

1986年にバレーボール中に死亡したハイマン選手や2002年にスカッシュの練習中にやはり心臓発作で死亡した高円宮殿下もやはりこの心停止によるものでした。年間5万人以上の人々がこのために命を亡くしています。

この突然心臓のはたらかなくなる状態は、本当に心臓が動かなくなってしまう心静止と心臓は動いても血液の送り出せない心室細動などがあります。

不整脈、心筋梗塞やそのほかの心臓病で、突然、心臓から血液が送られなくなり呼吸も止まり、意識もなくなり死亡する人が、年間5万人から6万人にもなります。

1986年にバレーボール中に死亡したハイマン選手や2002年にスカッシュの練習中にやはり心臓発作で死亡した高円宮殿下もやはりこの心停止によるものでした。年間5万人以上の人々がこのために命を亡くしています。

この突然心臓のはたらかなくなる状態は、本当に心臓が動かなくなってしまう心静止と心臓は動いても血液の送り出せない心室細動などがあります。

普段、心臓は筋肉を規則正しく縮ませ、ポンプのように中の血液を全身に送りだしています。心室細動というのは、この筋肉の動きがばらばらになります。心室細動といいはん状態になり、うまく血液が送り出せない状態を言います。これにAEDで、からだの外から電気を通すと、多くの場合、筋肉のぱらぱらの動きがもとの脈にもどり、血液を送り出すポンプ機能が回復します。

心臓が止まると全身に血液が流れなくなります。特に、脳は3分から4分酸素がとだえると脳死状態になります。そのため5分以内に、血液を心臓から脳に送つてやる必要があります。救急車を待っていたら手遅れで、倒れている人を見たらすぐに、呼吸をさせ、心臓をマッサージし、AEDで除細動をして、救急車をよぶことが必要になります。

普段、心臓は筋肉を規則正しく縮ませ、ポンプのように中の血液を全身に送りだしています。心室細動といいはん状態になり、うまく血液が送り出せない状態を言います。これにAEDで、からだの外から電気を通すと、多くの場合、筋肉のぱらぱらの動きがもとの脈にもどり、血液を送り出すポンプ機能が回復します。

このAEDは2004年の7月から、一般の人が使うことも法律で認められました。AEDの器械が進歩して、心電図を器械が自動的に読み取り、音声で、ショックは必要です、あるいは不要です、など指示をします。必要がないと電気がつながらない仕組みになっています。一度練習すれば、簡単に使えるようになりました。また、神戸市はまちかど急救ステーションの標章を作つて、AEDのある場所にはこの標章がはらって一般の人にもよくわかるようになっています。神戸市ではまちかど急救ステーションのAED使用例がこの2年間に17件あり、そのうち3名のいのちが助かっています。助かったのは、いずれも体育館や学校、スポーツ施設内での心停止に、AEDを使ったものです。今後は、置く場所も増え、使える人も増えてきましたのでさらに救命率もよくなつてくるものと思います。

尾崎放哉の

須磨寺の句碑をめぐって

加藤 隆久（神戸芸術文化会議長）
（生田神社宮司）



須磨寺の大師堂前に立つ放哉の句碑

「秋来ぬと眼にはさやかに見えねども風のと
にぞ驚かれぬる」という古歌があるが、九月の声
を聞いてもまだまだ残暑の酷しい日が続いている。
しかし、月の美しい季節を迎える。月で思い出す
私の好きな句碑が、神戸の須磨寺の大師堂前に建
立されている。

それは、大正十三年から十四年にかけて、須磨
寺大師堂の堂守をしていた自由律派の俳人、尾崎
放哉（1885～1926）の「こんなよい月
をひとりで見て寝る」である。放哉は明治十八年
鳥取で生まれ、鳥取一中から第一高等学校に入学
し、高俳句会に参加、一年先輩の荻原井泉水と知
り合い私淑する。「ホトトギス」にも入選し、東
大法学部政治学科を卒業後、東洋生命（現・朝日
生命）に入社するが退職。酒におぼれ妻とも別居
し、西田天香が主宰していた修養団・一燈園に入
るが体が続かず、知恩院の寺男となり、ここでも
醉余によつて寺を追われ、大正十三年神戸の須磨
寺に入り、大師堂の堂守となる。しかし、須磨寺
での内紛のため同寺を去り、各所を転々として、
大正十五年讃岐小豆島に四十二歳の若さで亡くな
ったエリート奇人して名高き、孤絶の自由律派の
俳人である。

須磨寺に建立されている放哉の句碑は、昭和三
十四年四月七日、神戸の文化人、加藤盛男氏等に
よつて、石工小西氏で建立されたもので、句碑は
荻原井泉水の書による「こんなよい月をひとりで
見て寝る 放哉」が彫られてある。建碑式の当日
は放哉の無二の親友、内島北朗も臨席していた。

さて、本稿で紹介したいのは、私が架橋する尾崎放哉の句稿の書軸をめぐつてである。この句稿は放哉の直筆で

汽車の窓からみんな顔出して梅林

池の氷が厚くて梅は匂ひ

昼空冴えたる音楽学校

橋の処の梅が早くて

あついめしがたけた野茶屋

どつさり春の終わりの雪ふり

油紙一枚背中に張つて春雨

海の宿屋に来てめづらしい大雪

お寺参りの春の雪散らす

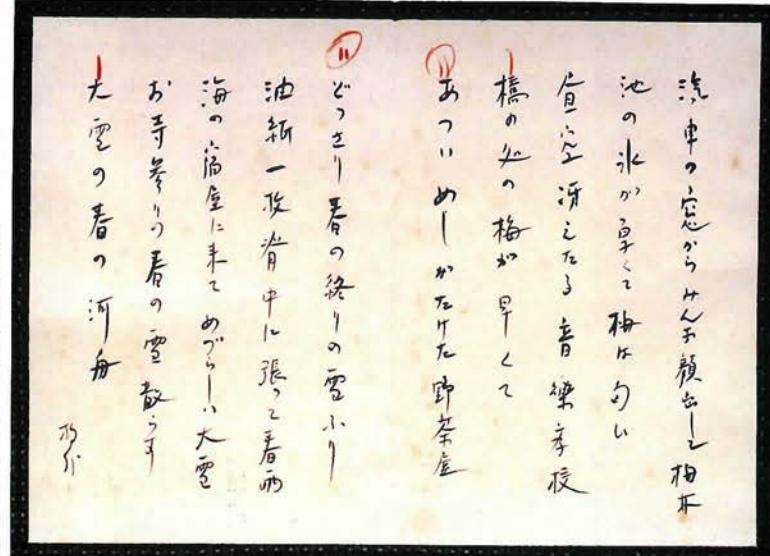
大雪の春の河舟

放哉

の十句が記されており、それぞれに朱で荻原井泉水が評点をつけている。この句稿の表装は放哉が小豆島で着ていた紺の着物の端切れが利用されている。この書軸はいわく因縁のあるもので、村尾草樹著「放哉」の資料編で、昭和三十一年二月二十三日に行われた座談会「東洋生命時代の尾崎放哉」の中で、荻原井泉水が次のように語っている。

放哉が小豆島で酔っぱらって、どぶの中に落ちて、着物を泥だらけにしてしまった。それを小包にして、飯尾星城子のところへ送った。星城子は放哉のところから何か来たかと思つて封を切つてみたら臭くつてしまふがいい（笑）。どぶへ落ちたままの自分で洗うのがめんどく

放哉の句に井泉水が朱を入れている（筆者所蔵）



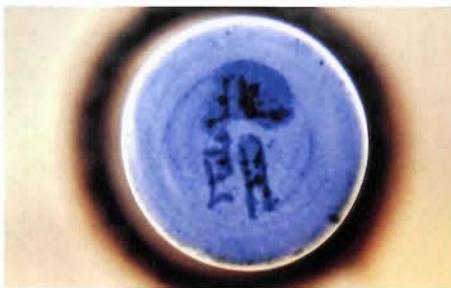
さいから、小包にして星城子のところへ洗つて
くれといつて送つてやつたわけです。

とある（この間の事情については、昭和十四年

十二月二十四日・春秋社発行の荻原井泉水輯「放
哉書簡集」所収による南郷庵より放哉から星城子
にあてた手紙に詳しい）。それが私の所蔵する句
稿の書軸の表装に使われている久留米絣の着物で
ある。さらに井泉水はさきの座談会の中で

放哉が亡くなつてからその久留米絣で放哉の書
いたものを表装して掛物にしております。それ
を私は箱根で見たことがあります。そう言う因
縁つきのものですが、なかなかおもしろいもの
ですよ。

と述べているが、実はその因縁つきの掛物を今、
私が所蔵しているのである。しかも、この軸先は
「北朗」と記された陶器で作られ、まさに放哉の
親友、俳人で陶工の内島北朗が作つたものである。



箱書きには井泉水の、軸先には北朗の名が

また、書軸の入つた桐の箱の箱書きには「放哉居
士詠草」と記され、放哉の師匠、荻原井泉水の直
筆によるものである。

放哉は、大正十五年四月七日小豆島土庄町南郷
庵で死去したが、小豆島の西光寺近くの墓地に埋
葬され、戒名は「大空放哉居士」という。

先年、私はロータリークラブが毎年開催してい
る小豆島余島の青少年指導者育成セミナーに出席
した際、放哉記念館や尾崎放哉の眠つている南郷
庵跡近くの墓地を訪ね、ほんの小さな「大空放哉
居士」の墓にお詣りしてきたのである。

※飯尾星城子 荻原井泉水の主宰する「層雲」の

同人で、剣道の師範。放哉と書簡を頻繁にやり
とりをしていた。福岡・八幡在住で、種田山頭
火とも交流があつた。



■ 加藤隆久(かとうりゅうじゅ)

1934年生まれ。

生田神社宮司。神戸芸術文化会

議長。神戸女子大学名誉教授。

文学博士。

震災で倒壊した生田神社を「耐

震神社」として再建。神道史や

地域史の研究伝統芸能やミニユ

ージカルのプロデュースも幅広く

活躍。神戸市文化賞、兵庫県文

化賞受賞。

造型工のマジック

中右瑛

字型の遊び・略画の文字絵 「狂筆・蝠寿の姿見」歌川広重筆

『東海道五十三次』で知られた浮世絵師・歌川広重のことを、「安藤広重」と呼ぶのは間違いである。「安藤広重」という絵師はない。

広重は武士の出身。本姓は安藤という。だがこの本姓とペンネームを混合して呼ぶのは正しくない。

例えば、座頭市で有名な勝新太郎という俳優がいたが、彼の本姓は「奥村」という。彼のことを、本姓と芸名をチャンポンにして「奥村新太郎」と呼んだとしたら、誰もが怪訝に思うだろう。そんな俳優はいないからだ。広重も同じことである。ベンネーム「歌川広重」が正しい。

センセイの少年時代は、誠に不幸だった。13歳の時、父母に死に別れ、その後は辛苦を味わつた。センセイの絵は生まれじめで、どこか寂しく、風景画にはセンチメンタルの叙情が漂うのもセンセイ苦労人のあらわれだ。

努力の末、風景画の大御所として君臨したのが、なかには、童心にかえつてひょうきんな絵を描いたものもある。

広重センセイの遊び心は旺盛だ。「文字遊び」、「影絵遊び」はいうに及ばず、洒落つ氣たっぷり、戯画、狂筆の類。これらは漫画の元祖ともいう『北

斎漫画』を大いに意識している。時には時局を茶化しパロディ精神を大いに發揮して、楽しいアイデアを狙つた。それが一連の戯画シリーズである。

「狂筆・蝠寿の姿見」はセンセイの珍趣向の「文字絵」遊びである。

有名な歌舞伎狂言『伽羅先代萩』の名シーンを「文字絵」で遊んだ。伊達藩お家騒動の張本人・仁木彈正は大鼠（この図では大蝙蝠）に化け連判状を盗み取ろうとし、それを阻止する荒獅子男之助。彈正と男之助との対決シーン。

もう一図は歌舞伎狂言『御所五郎藏』。侠客御所五郎藏と星影士右衛門とが吉原中ノ町での男伊達鞘当のシーン。仲裁に入る止め女。

二図とも図中の人物はすべて「寿」のくずし文字で型どられていて。楷書、草書、隸書



この2字はどこで使われているだろうか？左図で探してみよう

などなど様々な文字型を駆使し、小道具（提灯ほか）もくずし文字で構成されている。頭部（髪型や大鼠は「蝙蝠（こうもり）」。中国では「蝙蝠」は長寿の象徴。「蝠」と「福」とは同意語で、幸福に通じる。

歌舞伎の名シーンを「文字遊び」で挑戦し、「狂筆」と銘打った「文字略画」でもある。サインは「広重戲墨」。サインの下の赤い落款は「ヒロ」の洒落判。

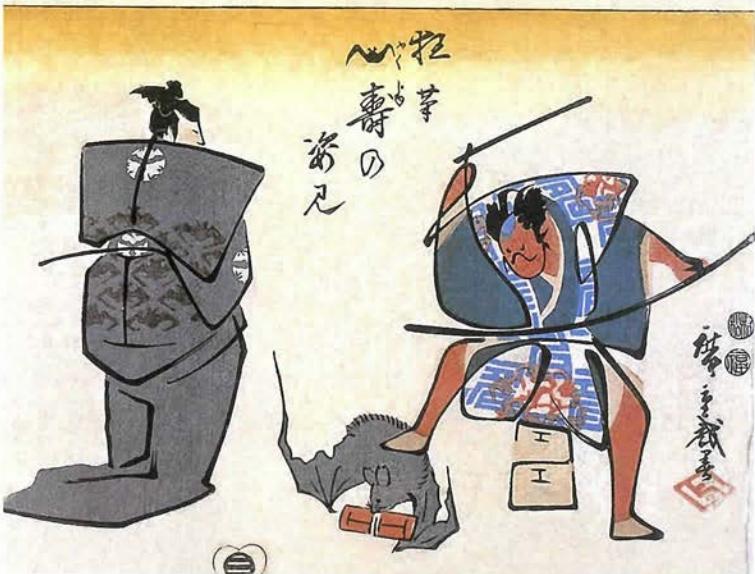
4～6図のみが知られ、センセイ最晩年の珍作といえよう。



■ 中右瑛（なかつえい）

抽象画家。浮世絵・夢エッセイスト。

一九三四年生まれ、神戸市在住。
行動美術展において奨励賞新人賞、会員賞、
美術賞、兵庫県文化賞、神戸市文化賞など受
賞。現在、行動美術協会会員、国際浮世絵學
会常任理事。著書多数。



「御所五郎蔵」（上図）、「伽羅先代萩」（下図） 歌川広重 文字絵 狂筆蝠寿の姿見

海 船 港

フェリーで巡る。

瀬戸内海体験クルーズ

文・写真 上川庄一郎



潮の流れの速い早朝の来島海峡大橋

「フェリーで巡る瀬戸内海体験クルーズ」
神戸経済同友会が「みなとの再生」で「クルーズの魅力、瀬戸内海の魅力をもつとアピールし、神戸港を『瀬戸内海クルーズの母港』に、そして世界を代表する『交流のみなと』にしよう!」と提言したことは、先に、本誌四月号で紹介した。

しかし、これを実現するにはいくつものハードルがあることも確かで、先ず「せとうち・感動体験クルーズ」から始めよう、と云うものだつた。

この企画に大きな関心を寄せ、色々とご支援くださつてある片桐正彦近畿地方整備局副局長の発案で、「先ずは魄より始めよ!」と手短なフェリー体験クルーズをやつてみようということになつた。

植村武雄神戸経済同友会顧問もこれに同調され、去る六月五・六日に実行する運びとなり、私も喜んで参加させていただき一行十二名となつた。

【フェリーを乗り継ぎ、呉港まで】

参加された方々は、それぞれお忙しいので、仕事の終わった五日の夜22時45分、ダイヤモンドフェリーに六甲アイランドのフェリーターミナルから乗船し、翌六日朝7時40分松山観光港着。ここから乗り継いで、呉港までは二時間足らずの短いクルーズである。

松山までの間では、明石海峡大橋、瀬戸大橋は深夜となつたものの来島海峡大橋の景観は十分堪能することができた。松山からは、小振りのフェリーで釣り船の浮かぶ静かな海を眺め、芸予諸島の移りゆく島々の景色を満喫し、平清盛が切り開いたと云う音戸の瀬戸を抜けて程なく呉港に入港。これまで、何度も『ばしふいいくびいなす』や

『にっぽん丸』など大型客船を利用したことはあるが、瀬戸内海の真ん中を通過するだけの、時によつては、屋久島や奄美、沖縄への途中のコースとしてしか捉えていなかつた。



平清盛が切り開いたという音戸の瀬戸

今回は、フェリーを乗り継いで「クルーズ」をしたが、エンス景（移り行く景）を存分に楽しむことができたのは非常にいい体験であり成果も大きかった。瀬戸内海クルーズは、そこに散りばめられた緑の宝石のような島々に立ち寄り、自然美と歴史ロマンに満ちた魅力溢れる内海や海の幸に触ることにより、その真価を發揮する。その意味で、今回は切り接ぎの短時間での忙しいクルーズではあったが、正しく「せとうち・感動体験クルーズ」に相応しい企画だったことは間違いない。

【戦艦大和のふるさと・呉】

呉と云えば、私たちには直ぐに戦艦大和のまちと云うイメージが頭をよぎる。その呉港に入港すると、直ぐ目の前が「大和ミュージアム」である。早速入館して学芸員の方から詳しい説明を受けた。単なる太平洋戦争の落し子と云つたものではない。まさしく、明治から戦前までの日本の辿った生々しい生き様そのものである。このことは、開館二年にして、三百万人もの入館者を数えたことが雄

弁に物語っている。これも、江田島と並び瀬戸内海を語るに忘れてはならない歴史の館である。

瀬戸内海は、古くからの歴史・文化の宝庫であり、これ以外にも数々の史跡や文化財が存在する。

【広島で、交流会】

この後、広島に出、中国地方整備局や中国運輸局の幹部の皆さんと食事を挟んで交流会が持たれた。もちろんこれも片桐副局長の取り計らいであることは云うまでもない。と云うのは、中国地方整備局が、「瀬戸内・海の路ネットワーク協議会」の事務局でもあり、神戸経済同友会の目指す「瀬戸内海クルーズ」実現のためには、何としても絶大な支援・協力を得なければならない行政機関であることを察知してのご配慮だつた。

結論として、中国地方整備局でも、このプロジェクトには全面的に賛成だし、協力を惜しまない約束していただいたことが、今回の体験クルーズのもう一つの成果だつたと云つてよい。

この成果を、来年夏に予定している本番の「せとうち・感動体験クルーズ」につなげてゆき、ぜひ成功させたいものである。



■かみかわ しょうじろう

1935年生まれ。
神戸大学卒。神戸市に入り、消防局長を最後に定年退職。その後、関西学院大学、大阪産業大学非常勤講師を経て、現在フリーライター。



堂々たる貴様の戦艦大和(縮尺1/10模型)



昭和 32 年田崎俊作は

父とともに世界一周旅行に出かけた

ニューヨークではティファニーをはじめとする

宝石店などをまわり

アメリカ人たちの生活を身近で見るにつれ

真珠商としての商売の自信も

強く持ち始めた田崎であった

海からの贈り物…真珠とともに生きる

日本の真珠王

~King of Pearl~ Syunsaku Tasaki Story

田崎俊作物語

〈第八話〉

漫画：佐藤晴美





田崎はその後
一人でフランス、西ドイツ
イタリアをまわった

各国でまず宝石店をめぐり
そしてホテルやカフェで
ヨーロッパの人々の生活を
垣間見た



アメリカでも
そうだったが

毎日ステーキとか

ご馳走ばかり

食べているんじや
ないんだ

彼らは

別世界の人間じゃなく
人間としての生活は
日本人と同じだ

真珠を買ってくれる
アメリカ人は
みな特別の金持ちだと
思っていたが…



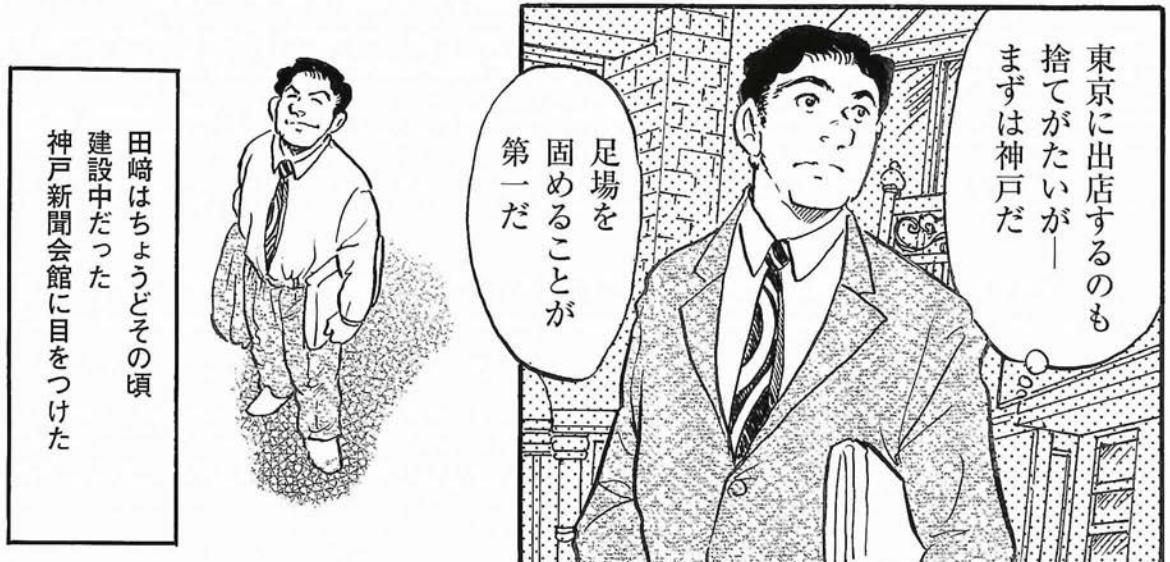






田崎は決意を胸に
帰国した





昭和34年にオープンした
神戸新聞会館は

国鉄三ノ宮駅前にあり
当時としてはもつとも
モダンなビルだった

よしつ！

4坪程度の店舗

だつたが
ここに出店することに
決めた

このたび
田崎真珠の
小売店を
出すことにした

実は
みなさんには
お話ししたい
ことがある

小売店
ですか？

ええっ

場所は新しく完成する
神戸新聞会館の 1 階だ



小さな敷地だが
初出店の場所
として
申し分ないだろ？



し：社長
お言葉ですが—
小売店など出して
はたして真珠など
売れるでしょうか？



大丈夫！
オレは世界を見て
日本も生活水準が上がれば
真珠や宝石が
売れる時代が来ると
確信した！！

いつかきっと
日本の女性にも
真珠やダイヤモンドの
指輪やネックレスを
身につけるときが来る—
いや、いつかではない
もう、すぐそこまで來てゐる
未来だ !!